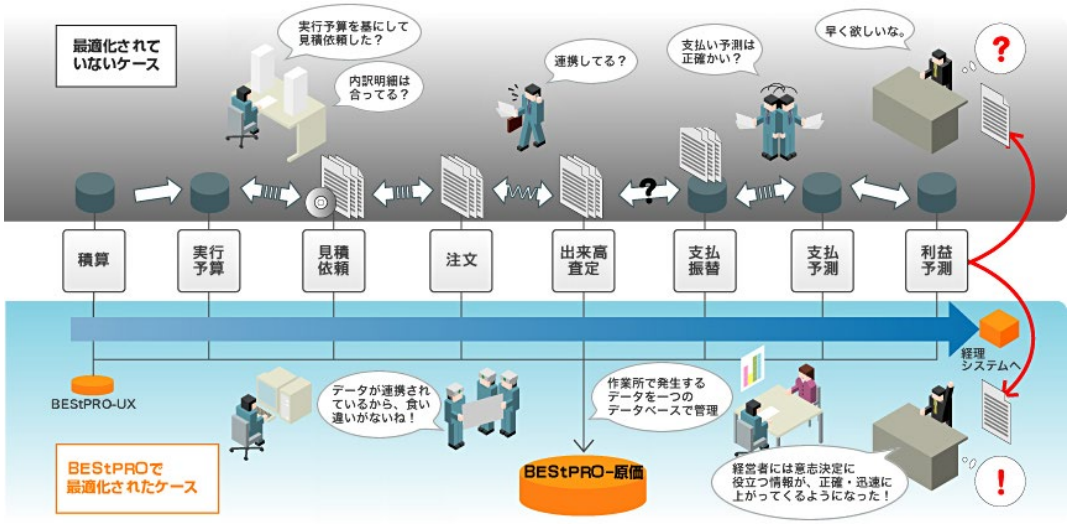
ＢＥＳｔＰＲＯシリーズ
原価管理システムについて

建設業・土木工事業は、市場規模の縮小、利益率の低下、内部統制の強化、外注の契約化といった厳しい経営環境に直面しています。このような状況下で利益を確保し向上させるためには、現場部門のコストを積極的に管理する「原価管理」を導入し、迅速な経営判断を行うことが重要です。
この原価管理を実現するために重要な役割を果たすのが「原価管理システム」です。

作業所データの一元化とリアルタイム把握
利益の源泉となる各作業所のデータを一元的に集約し、すべてのデータをタイムリーに把握することを可能にします。

現場管理業務の効率化
実行予算や出来高査定などのデータを収集し、それに基づいて注文書、請求書、原価台帳といった各種書類の作成を効率化します。さらに、支払予測や利益予測といった管理業務も支援し、現場にかかる管理負担を軽減します。

このように、原価管理システムは、現場のコスト管理を徹底し、経営判断の迅速化を促すことで、厳しい環境下にある建設・土木業界の企業が利益を確保し、成長していくための基盤となるシステムです。



原価管理システム「BEStPRO-原価」導入によるメリット

【経営者】物件ごと、業者ごと、工種ごと、事業部ごとでの支払予測や利益予測、受注状況など、経営判断に必要な情報がタイムリーに参照できます。
【部門長】業者への見積徴収状況、請求処理状況が画面で確認、参照できます。また、支払い予定（手形・現金）状況が確認参照できます。
【経理部門】請求処理の状況確認ができ、締め日に対する管理が容易になります。また、各種集計、参照、未払いや未収の抽出・集計が容易になります。
【建築部門】請求処理に対して、「現場での出来高査定入力による処理」「請求書が来てから請求書を入力」のどちらの方法にも対応できます。また、請求処理漏れや見積徴収漏れがないように工種別等での管理が可能です。
【管理部門】各種承認状況、進捗状況が確認参照できます。また、各種条件による検索・抽出が可能です。

© 2025 Fujitsu Engineering Technologies Limited